

令和6年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	90分
1	20	新生会 只野直悦	<p>1 令和6年度の市政運営について</p> <p>(1) 重点事項と予算編成について</p> <p>(2) ふるさと納税活用の政策推進枠の取組</p> <p>(3) 人口減少対策, 少子化対策の取組</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 少母化対策への認識と本市の課題</p> <p>2 持続可能な誇れる農業の推進について</p> <p>(1) 令和6年度の水田農業の課題と展望</p> <p>(2) 飼料用米の専用品種作付けの問題点の認識と課題</p> <p>(3) ささ結の生産拡大策とささ結作付け10周年記念の大イベントの考え</p> <p>3 林業振興について</p> <p>(1) 本市における森林環境税と森林環境譲与税の活用状況と将来の展望について</p> <p>(2) 都市部自治体との連携した森林環境譲与税の活用について</p> <p>4 大崎市の観光振興について</p> <p>(1) 大崎市観光振興ビジョン・大崎市観光振興ビジョンに係るアクションプランの進捗状況について</p> <p>(2) 宮城県が導入を検討している宿泊税に対する大崎市の所見と今後の方針について</p> <p>(3) 宮城県が推進している公益法人宮城県観光連盟のDMO(観光地域づくり法人)化と今後の連携について</p> <p>(4) 地域の稼ぐ力の構築, 観光振興推進に特化した大崎・鳴子温泉郷DMO創設の考えについて</p> <p>5 半導体関連産業と本市の関わりについて</p> <p>(1) 半導体関連産業対策チームの役割と進捗について</p> <p>(2) 宮城県, 周辺市町村との連携状況について</p> <p>(3) 関連産業ニーズの把握状況について</p> <p>6 ゼロカーボンシティ宣言の推進について</p> <p>(1) 大崎市の森林・山村資源による再生可能エネルギーの活用について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア J-クレジットの推進に向けた市有林の多面的活用について</p> <p>(2) 再エネ関連補助金について</p> <p>(3) カーボンニュートラルの実現について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 大崎市の2030年中期目標の進捗と2050年目標への計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 環境省の脱炭素先行地域への計画提案について</p> <p>7 こどもまんなか社会に向けて</p> <p>(1) (仮称)大崎市こども計画の策定について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 策定の取組方法と既存の各種計画に対する影響について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ こども家庭センターへの取組と新たな組織機構の考えについて</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 切れ目のないこども施策の展開について</p> <p>8 病院事業について</p>	90分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
2	9	創新会 伊勢健一	<p>(1) 大崎市民病院経営強化プラン（中間案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 強化プランにおける本院の役割について イ 地域医療連携と強化プランの関わりについて ウ 分院の役割と、今後の運営方針について <p>(2) 鹿島台分院の新たな取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ときどき入院ほぼ在宅の進め方 <p>9 がん教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 義務教育過程におけるがん教育の現状と内容について <p>10 大崎市誕生 20 周年記念事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和 7 年度は大崎市誕生 20 周年となるので、記念すべき事業の考えについて <p>1 小学校跡地の利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校跡地の利活用に向けたこれまでの取組を踏まえ、令和 6 年度の取組について所見を伺う (2) 廃校の特殊性に配慮した貸付料の設定に至る経過と、その展開について所見を伺う <p>2 自主防災組織育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 各自主防災組織では、日頃より防災訓練などを通じて防災、減災の取組を行っている。大崎市地域防災計画では、減災に主眼を置いた市民力を結集した減災体制の構築を防災ビジョンに位置づけており、本市が進める防災体制の情報共有や災害時の避難所運営への理解促進などのため、自主防災組織の育成支援をどのように図っていくのか。また、自主防災組織の連合組織結成について所見を伺う <p>3 教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒に対して、個別の教育的ニーズに応じ適切に対応するため、教育支援員の重要性は増している。教育支援員配置の現状と加配についての所見を伺う (2) 令和 6 年度から全ての小中学校を対象に英語のデジタル教科書が提供されることとなるが、導入に向けた取組について所見を伺う (3) 休日の学校部活動の地域移行について、大崎市休日部活動地域移行推進計画（中間案）を策定した段階だが、現状と課題、基本的な考え方、移行に向けた基本方針について所見を伺う <p>4 生活体制整備支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援コーディネーターを中心に日常生活における、困り事などの把握及び生活支援の体制確立に向け支援する事業についての、これまでの経過と令和 6 年度の取組について所見を伺う。 また、関係機関や大学等との連携した体制構築の現況について伺う <p>5 放課後児童クラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 利用者が増加傾向にある各放課後児童クラブ事業の現状と、そのニーズをどのように捉え、今後、施設整備なども含めどのような対策を講じていくのか、所見を伺う <p>6 大崎市民病院事業について</p>	75 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>(1) 地域医療連携の拠点となる施設を、大崎市民病院の一部として整備することとしているが、現状の夜間急患センターの課題をどのように捉え、その課題解決にどのように取り組む計画なのか、所見を伺う</p> <p>(2) 大崎市民病院鹿島台分院において、令和6年4月からスタートする、ときどき入院ほぼ在宅の在宅療養支援と、実現に向けた鹿島台分院の取組内容や関係機関連携について所見を伺う</p> <p>7 大崎市の観光振興について</p> <p>(1) 令和5年12月に台湾台北市で開催された日本東北遊楽日2023に、大崎市からもブースを出展したが、この効果をどのように捉え、今後生かしていくのか、所見を伺う。 あわせて、台湾のみならず他の国々へのアプローチもを行い、観光振興の観点からインバウンド対策についても充実されるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 令和5年12月、鳴子温泉地域の各観光協会の方々が、岐阜県下呂市の観光地域づくり法人(DMO)の視察研修を行ったとのことであるが、担当課でその感想や反応について情報共有を行っているのか伺う。 また、地域で機運が高まってきており、観光DMO設立に向けた政策を推進していくべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 大崎市観光振興ビジョンに係るアクションプランの中では、観光地域ブランドの強化が掲げられており、鳴子温泉郷は7種類の泉質を有することが明示されているが、泉質のみならず、効能もわかりやすく説明し、新・湯治につながる新たな取組が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>8 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) イノシシやツキノワグマなど野生鳥獣による被害は、農作物に限らず人的被害も想定されるため、今後さらなる鳥獣被害対策の体制強化が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 野生イノシシの豚熱対策への対応について所見を伺う</p> <p>(3) 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設を開設したことから、農産物の被害対策と併せ、ジビエを活用した新たな特産品化などを期待するが、農村資源を生かしたジビエの郷づくりの推進について所見を伺う</p> <p>9 大崎市雨水管理総合計画について</p> <p>(1) 大崎市雨水管理総合計画の策定に至る経過と、本計画の範囲を古川、三本木、松山、鹿島台の4地域とした理由について伺う</p> <p>(2) 本計画の期間が、当面、中期、長期と設定され、令和6年から実に30年に及ぶ時間軸であるが、最優先対策地区として古川地区中心部の4地区を選定した理由を伺う</p> <p>(3) 令和5年7月、東北地方で初めて吉田川水系が特定都市河川に指定され、続いて多田川水系も指定に向けた要請を行っているところだが、今後さらに国や県とも強力で連携して計画遂行にあたるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>10 建設業における処遇改善について</p> <p>(1) 令和6年4月より、建設業にも時間外労働の罰則つき上</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	23	改新クラブ 氏家善男	<p>限規制が適用されるため、処遇改善を推進する観点から、働き方改革や熱中症対策等を考慮した工事発注等の制度設計が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 市発注工事の平準化を図ることによって、処遇改善につながると考えるが、所見を伺う</p> <p>1 新年度予算編成について</p> <p>(1) 昨年に引き続き厳しい財政状況の中での予算編成と伺っているが、第2期宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略の重点プロジェクトとして新年度、最も思いを込めている事業は何か</p> <p>(2) 新年度予算に名前をつけるとすれば、どのような名前になるか</p> <p>2 財政健全化について</p> <p>(1) 一般会計における実質単年度収支は平成26年度決算から令和4年度まで8年連続で赤字を続けている。財政調整基金の残高も平成28年度末の134億1,300万円をピークに減少の一途である。新年度予算編成においても、財政調整基金からの繰入れを前提としなければならない事態となっており、このままでは数年後には財政非常事態に陥ると危惧するものである。新年度、財政健全化に向けた取組について所見を伺う</p> <p>3 半導体・産業立地推進室設置と地域活性化について</p> <p>(1) 設置の目的、体制について伺う。また、台湾企業が大衡村に進出することによりここを中心に人、物、金が大きく動くこととなるが、いかに本市の産業振興及び地域活性化に結びつけるかが問われている。新年度スタートに当たり何をどのように進めようとしているのか、所見を伺う</p> <p>(2) 関連企業が熊本県では90社以上に上る。関連企業の進出が期待されるが、新たな工業団地造成の考えを伺う</p> <p>4 DXの取組について</p> <p>(1) 令和5年度においてデジタル戦略課を設けた。デジタル技術を活用しての市民生活の向上を図るとしているが、新年度の具体的な取組について伺う</p> <p>(2) DXを本格化していく上では、今後の見通しについてロードマップが必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 消防団員の多様化する職業や早期出動、団の出動要請に大きな効果のある消防団アプリの導入の考えについて伺う</p> <p>5 日本語学校について</p> <p>(1) 来春開校に向けて生徒募集のターゲットとしている国や生徒数の見通し、学生寮の見通しなど現在の進捗状況を伺う</p> <p>(2) P SMCの大衡村への進出に伴い、台湾の生徒募集を視野に入れてはどうか</p> <p>(3) 多文化共生社会を目指すとしており、学校となる旧西古川小や学生寮のある周辺住民との交流が欠かせないと思うが、地域への理解や行事への参加、また交流をどう構築し</p>	60分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>ていくか伺う</p> <p>6 JR陸羽東線存続について</p> <p>(1) JR陸羽東線の利活用促進において、本年度重点事業を伺う</p> <p>(2) 利用客の増加には、駅から目的地への二次交通の充実が必要であると考えますが、取組を伺う</p> <p>7 地域公共交通について</p> <p>(1) 高齢化が進み地域公共交通が果たす役割がさらに大きくなっており、ドア・ツー・ドアが求められる時代となってきた。今後の地域公共交通をどう発展させていく考えか、所見を伺う</p> <p>8 地方大学の誘致について</p> <p>(1) 高校卒業後大学へ進学を希望し、県外へと流出する若者は多い。卒業後も地元に戻る割合は少ない。少子化により学生が減少する中ではあるが、本市は農業試験場や畜産試験場を有し、実習場や研究所に恵まれている。世界農業遺産にも指定され国内でも有数の農業地帯である。若者の学ぶ場を提供し、DX時代の農業を学ぶ地方大学の設置は必須と考えるが、所見を伺う</p> <p>9 水害対策について</p> <p>(1) 令和5年7月に吉田川が特定都市河川の指定を受けた。また、市においては建設部に流域治水推進室を新たに設けるが、新年度どのような対策を講じていくのか伺う</p> <p>(2) 流域治水となると市の境を越えた地域となるが、関係自治体との連携について、また事務局は東北地方整備局になるのか伺う</p> <p>(3) 水害を防ぐためには河道掘削や支障木の撤去、田んぼダムを取組も重要視されるが、山に降った雨をいかに保水するか重要である。しかし、木材の需要の増加に伴い民有林の伐採が進んでおり、再生林は進まず切りっぱなしの状況であることを認識すべきである。再生林への手厚い対策を講じるべきであると考えますが、所見を伺う</p> <p>10 不登校児童対策について</p> <p>(1) 多様な学びの場の創出の視点から学びの多様化学校の必要性が増している。不登校児童は毎年増加の傾向にあり、こうした児童にどう対応していくのか、新年度の取組を伺う</p> <p>(2) 学びの多様化学校の誘致について民間、公設問わず大崎市にあれば必要とする子どもたちにとって朗報である。不登校児童への対応を急ぐ必要があると考えるが、所見を伺う</p> <p>11 夜間急患センター移転整備事業について</p> <p>(1) 令和5年度から移転整備に入るとして事業を進めてきているが、進捗状況と開設時期を伺う</p> <p>(2) 医師の高齢化や働き方改革など状況が変化する中で、安定した運営が確保されるか、見通しを伺う</p> <p>12 農業政策について</p> <p>(1) 水田活用の直接支払交付金事業における5年に一度の水</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	25	日本共産党大崎 市議会議員団 小沢和悦	<p>張りについて新年度実施の方向性を伺う。また、水稻の作付けの義務化はどうなるのか伺う</p> <p>(2) 畑地化促進事業予算の確保の見通しについて、5年度は厳しかったが新年度はどうか。また、5年度より交付金額を引き下げる動きもあるようだが、内容を伺う</p> <p>(3) 市が作付拡大を目指すささ結びについての取組状況を伺う</p> <p>13 環境対策及び再生可能エネルギーについて</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ推進に向けた新年度における特筆すべき取組について伺う</p> <p>(2) 再生可能エネルギーは自主財源を生み出す源泉としても期待される。よって新年度において大崎市としても自ら再エネ事業に取り組むべきと考えるが、意気込みを伺う</p> <p>14 おおさき鳴子DMO創設について</p> <p>(1) 観光活性化の牽引者として観光客と観光地をつなぐDMO創設を機運醸成を図りながら進めるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 大崎市の農業振興策について</p> <p>(1) 国に望まれる農業、食料政策についての市長の認識</p> <p>(2) 農業に誇りを持っていても農業機械が壊れたら離農という農家から聞かれる声に、大崎市はどう対応するのか</p> <p>(3) 水田活用の直接支払交付金制度見直しの影響を最小限に抑え、畑地化促進事業を活用し、安定増収を図る対策について</p> <p>2 奨学金返還支援事業について</p> <p>(1) 地元企業等の人材離対策と若者の移住、定住促進策として実施することについて</p> <p>3 大崎市の少子化対策の充実強化について</p> <p>(1) 市長の現状認識について</p> <p>(2) 岸田政権の異次元の少子化対策と財源問題への市長の認識について</p> <p>(3) 学校給食費を含む教育に係る保護者負担軽減の必要性に関する市長の認識について</p> <p>4 古川駅周辺活性化対策の進め方と大崎市の関わり方について</p> <p>(1) 大崎市の上位計画、財政計画との関係で描かれる古川駅周辺活性化の基本的な考えについて</p>	60分
5	5	NEXT 加川康子	<p>1 職員の人財育成について</p> <p>(1) 課題解決の前提には、適切な課題設定が必要となるが、課題発見スキルの必要性をどのように認識しているか。また、そのスキル習得、向上に向けどのように取り組んでいくか</p> <p>(2) EBPMによる政策立案の推進に向け、職員の育成状況</p>	45分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>はどうか</p> <p>(3) 官民連携や各種団体との共創が求められる時代において、新たな知識、スキルを学び、行政とは異なる組織文化、業務プロセスの理解が必要である。今後、民間との研修、交流をどのように進めていく予定か</p> <p>(4) 人材アセスメント等、職員一人一人の特性を可視化し、客観的材料を活用して人事評価、ジョブローテーションを行ってはどうか</p> <p>(5) 人事評価における実績評価において、評価理由や評価ポイント、今後の改善点等のフィードバックを行い、次年度に向けた目標設定や動機づけを行う必要があると考えるが、どうか</p> <p>2 産業力強化について</p> <p>(1) 大衡村への半導体工場設立に向け、大崎市はどこにフォーカスし、どのように取り組む予定か。熊本県等、他自治体の状況把握を踏まえ、大崎市にどのように生かしていくか、所見を伺う</p> <p>(2) 働き方の選択肢の多様さは若年層の定住、Uターン等の促進、潜在的労働力の掘り起こしにつながるが、選択肢の一つとして、スモールビジネスの支援、発掘に本市がさらに取り組むべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 こどもまんなか社会の実現について</p> <p>(1) 令和6年度、本市では国のこども大綱、県のこども計画の内容を踏まえ、(仮称)大崎市こども計画の策定が予定されているが、こどもまんなか社会の実現に向け、主力の施策として何を掲げ、実行していくのか</p> <p>(2) (仮称)大崎市こども計画の策定では、子どもや若者、保護者から幅広く意見を求めるとあるが、計画策定時だけでなく、日常的に子ども、若者の意見を行政等に届け、政策反映、結果等のフィードバックを行えるよう本市においても子ども、若者の意見反映の仕組みづくりが必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 日本が子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)を批准してから約30年が経過するが、認知度は全国的に低い状況にある</p> <p>ア 子どもが権利の主体者であり、子どもたちが安全に、安心して生きられる社会を実現するため、本市において子どもの権利に関する条例を制定し、市民、特に保護者等へ広く周知すべきではないか</p> <p>イ 子どもの休息、余暇、遊び、文化的・芸術的生活への参加する権利を本市はどのように担保していくのか</p> <p>4 自治体DXについて</p> <p>(1) 大崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画で掲げた目指す姿について、どのように市内に共有を図っているか。また、その浸透度はどうか</p> <p>(2) これまでの取組で、どのように組織文化が変容したのか。また、今後の課題をどのように捉えているか</p> <p>(3) 令和6年1月15日から稼働したLINEを使ったデジタ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
6	15	大志会 相澤久義	<p>ル市役所に対する市民の評価はどうか。また、今後機能拡充を検討するにあたり、どのようなプロセスをもって拡充していく予定か</p> <p>5 教育について</p> <p>(1) 価値観の多様化、生成A I等の急激な技術革新等、教育を取り巻く環境が大きく変化している今、教育の在り方を考える時期を迎えている。本市の教育行政の最上位にある教育大綱には、基本方針、基本目標が掲げられているが、その源となる基本理念が示されていないのではないかと。大崎市が目指す教育の基本理念を掲げ、市民に分かりやすく共有を図るべきと考えるが、どうか</p> <p>(2) 経済産業省は平成30年度より、1人1台端末と様々なE d T e c h (エドテック)を活用した新しい学び方を実証する未来の教室を全国の学校などと進め、学校単体では提供できなかった多様な学びを実現している。こうした事例を踏まえ、本市においても生成A Iをはじめとするデジタルの活用及び民間サービスを活用し、子どもたちの学びの選択肢の拡大に向けて取り組むべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 歯止めのかからぬ人口減少について</p> <p>(1) 子育て支援策について</p> <p>ア 子育て応援給付金が創設されたが増額の考えを伺う</p> <p>イ 児童手当は0歳から3歳未満までが月15,000円、3歳以上小学校修了前までが月10,000円(第3子以降は15,000円)、中学生が月10,000円であるが、大崎市独自の支援加算金の考えはあるのか伺う</p> <p>ウ キッズランド(屋内、屋外)整備について</p> <p>大崎市内には子どもを連れて遊びに行く場所がないと子育て世代の親の話をよく聞く。廃校になった小学校の体育館を屋内キッズランドとして活用できないか。</p> <p>また、三本木新世紀公園のふわふわドームは多くの親子連れでにぎわっていることから、公園の地形を利用し遊具を増設して屋外キッズランドとして整備すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 公立・私立保育所・幼稚園等の経営について</p> <p>ア 平成30年を境に出生数が激減している。本市では待機児童解消のため、私立保育所等を増設し対応してきたが、出生数減少に伴う経営難を懸念しているが、所見を伺う</p> <p>(3) 若者の人口流出対策(都市計画居住区域に宅地造成整備)</p> <p>ア 大衡村に台湾大手半導体会社が進出してくるが、この機に半導体会社の社員の住居先確保が必要と考える。また、市内に住みたくても地価が高く市外に居住先を求めると聞くと聞く。三本木地域は地価が安く、古川駅、大崎市民病院まで十数分とアクセスもよいことから宅地</p>	45分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	4	公明党 山田匡身	<p>整備を行い、転出防止と転入促進を進めるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 これからの大崎市の産業について</p> <p>(1) 大衡村への台湾大手半導体会社の進出は、本市の産業分野で波及効果が期待されるが、大崎市ではどのように捉え、どう期待しているか、所見を伺う</p> <p>(2) 今後の大崎市の対応、取組の考えを伺う</p> <p>3 大崎市における農業問題について</p> <p>(1) 農家の平均年齢は68.5歳でほぼ70歳に近い世代が一生懸命農業に従事している。我が地域を見ると、基盤整備された圃場であっても担い手は法人を立ち上げ、雇用人を数人雇っていても規模拡大は限界と聞く。ましてや、未整備の圃場は受け取らないと言っている。未整備の圃場は、数年後どうなるのか懸念を抱いている。圃場整備促進の考えと未整備地の農地活用をどのように捉えているか、所見を伺う</p> <p>1 産業・農業の強化について</p> <p>(1) 大崎市と国際リニアコライダーの関わりについて</p> <p>(2) 地域農家の担い手、人材確保の取組について所見を伺う</p> <p>2 病院事業について</p> <p>(1) 分院での小児医療と初診診療の現状について</p> <p>3 公有財産を活用した財源の確保について</p> <p>(1) ネーミングライツ事業の実施の所見を伺う</p> <p>4 教育行政について</p> <p>(1) 学校の健康診断における児童生徒等のプライバシーの配慮の考えについて</p>	30分